



アフィメトリクス・ジャパン株式会社

2005年10月6日

報道関係者各位

**アフィメトリクス、
自動ターゲットサンプル調製マイクロアレイ処理システム
「GeneChip® Array Station」を発売**

～高度なデータの一貫性を確保し、大規模研究の総費用を削減～

アフィメトリクス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:田山明男、以下アフィメトリクス)は本日、ターゲットサンプル調製を自動化することにより、精度の向上とサンプルあたりの総コスト削減を実現する、大規模研究用のマイクロアレイ処理システム「GeneChip® Array Station(以下 Array Station)」を販売開始しました。アフィメトリクスの Array Station は、データの一貫性を向上させ、実験を行うのに必要な時間を減らすことで、発見や研究発表を加速し、新たな検査や治療法の上市までの時間を短縮します。

アフィメトリクスの Array Station により、大規模な学術研究機関や、製薬企業は、スタッフを増員せずに研究プロジェクトの規模を拡大することが可能です。自動化された Array Station は、4人のスタッフが手動で実施できるのと同数のターゲットを1人で調製できます。ターゲット調製に人手を要する時間は約12時間から2時間に短縮され、サンプルあたりのコストも削減できます。

既に、Array Station を導入している米国カイロン社のゲノミクス/プロテオミクス部門の研究者、アンナ・ケリー氏は次のように述べています。「アフィメトリクスの GeneChip Array Station をこの8か月間使いましたが、これまで不可能だった納期にも対応することができました。ターゲット調製が自動化されたことで、同数のスタッフで以前より70%多くのサンプルを処理でき、予定より早く他のプロジェクトに着手できました。」

Array Station は、米国キャリパー・ライフサイエンス社と共同開発された製品で、実績のある自動化技術とマイクロアレイテクノロジーの専門知識を結集することで、より高品質で一貫性のあるデータを、経済的に生成可能にしました。この Array Station は、素早い起動と簡単な操作を可能にするキャリパー社の「キャリパーサイクロンリキッドハンドリングワークステーション(アップグレード済み)」と「Twister® II プレートハンドラー」を採用しています。システム全体としては、オープンソフトウェアアーキテクチャをベースに、フレキシブルな周辺機器、アフィメトリクスの実績ある GeneChip マイクロアレイ、最適化されたアッセイプロトコールや試薬等で構成されています。

今回の発売について、アフィメトリクス米国本社のシニアビジネスマネージャー、セジャー・シエスは、次のように述べています。「研究者は、この高効率の自動ターゲット調製マイクロアレイ処理システムにより、小規模の試験的な遺伝子実験やゲノム実験の枠を超えて、研究を拡大できます。」

これにより、アフィメトリクスは、学術・製薬研究を加速させ、より良い治療法や個々の患者に適したテーラーメイド医療を医師に提供することで、最終的に医療に革命をもたらします。」

また、Array Station は、拡張性が高く、現在と将来の研究ニーズの両方に対応できます。現行の GeneChip カートリッジでの使用に最適化されているだけでなく、ハイスループット(HT)のアレイプレート処理できる内蔵機能も備えています。HT プレートは今年後半に発売予定で、GeneChip アレイを標準的な 96 ウェルプレートフォーマットで提供し、最大 96 種類のサンプルを一度に解析できます。

アフィメトリクス社について

アフィメトリクスの科学者は、1989年に世界初のマイクロアレイを発明し、1994年に最初の商業マイクロアレイの販売を開始しました。それ以降、アフィメトリクスの GeneChip®テクノロジーは分子生物研究の業界標準となりました。世界トップの製薬企業、診断薬企業およびバイオテクノロジー企業、さらには主要な学術機関、政府および非営利の研究施設がアフィメトリクスのテクノロジーを使用しています。1200以上のシステムが全世界に向けて出荷され、このテクノロジーを用いて3000本以上の査読論文が発表されています。特許を取得したアフィメトリクスのフォトリソグラフィ製造工程は、今日最高レベルの情報量をアレイ上に搭載し、研究者は遺伝子と健康の関係性をゲノム網羅的に解析できます。アフィメトリクスはカリフォルニア州サンタクララに本社、ヨーロッパとアジアに子会社を置き、カリフォルニア州サクラメントとマサチューセッツ州ベッドフォードに製造工場を有します。従業員数は世界全体で約900人。詳細に関しては、アフィメトリクス社のホームページ、www.Affymetrix.com をご参照ください。

アフィメトリクス・ジャパン株式会社について

アフィメトリクス・ジャパン株式会社は、米アフィメトリクス社の100%出資子会社として、2003年1月に設立。大学等の学術研究機関、政府および非営利の研究施設、また製薬、農薬、食品、バイオテクノロジーを扱う企業を主な顧客とし、日本国内の様々な分野の研究開発の進展に、アフィメトリクス社のテクノロジーを役立てていただけるよう、国内のニーズにあった、より顧客と近距離の販売・サポート体制を目指して努力を続けております。詳細に関しては、アフィメトリクス・ジャパン株式会社のホームページ、www.affymetrix.co.jp をご参照ください。

アフィメトリクスのロゴと GeneChip は、アフィメトリクスのトレードマークとして登録されています。

本プレスリリースに関する報道関係者向けお問い合わせ
ホフマン ジャパン株式会社（広報代理） 担当：川原直子・マークチズム
E-MAIL: nkawahara@hoffman.com TEL: 03-5159-2145

本プレスリリースに関する読者からのお問い合わせ
アフィメトリクス・ジャパン株式会社 営業部
E-MAIL: salesjapan@affymetrix.com TEL: 03-5730-8200(代)